



令和8年度しがアートコラボレーション事業 「戦国アーツフィールド長浜」 開催のお知らせ

このたび、びわ湖芸術文化交流センター(以下、^{ビワラック}BiWACC)と特定非営利活動法人 はまかるの協働により、「戦国アーツフィールド長浜」を開催します。実際の史跡を歩きながら、その土地に残る物語を演劇として楽しむ企画です。NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」の放送に合わせ、ゆかりの地として盛り上がっている長浜市にて、演劇の力をつかって、まちの賑わいと回遊性をさらに高めることを目指しています。

つきましては、貴メディアを通じて、ぜひとも県民の皆様にご紹介いただきたく、広報のご協力を賜りますようお願いいたします。

「戦国アーツフィールド長浜」概要

第一弾 演劇×ものづくり体験×登山

山城合戦体験ワークショップ 『賤ヶ岳決戦!山城を攻め落とせ!!』

■2026年6月27日(土)

会場:余呉まちづくりセンター(長浜市余呉町中之郷 1117-1)
～ 堂木山砦

時間:11:00～14:00

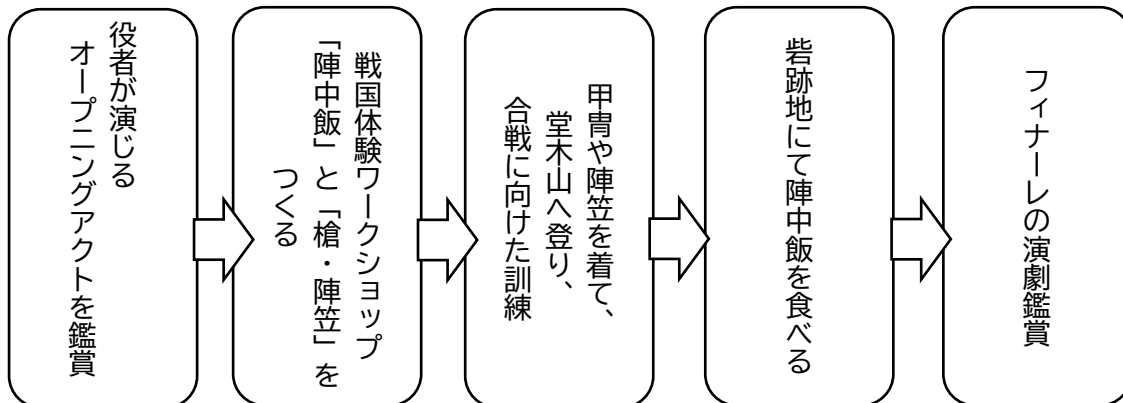
料金:一般 1,000円 高校生以下 500円

定員:30名程度

概要:甲冑や陣笠を付けて、参加者みんなで足軽になろう!
羽柴秀吉軍侵攻に備える柴田勝家の山城攻めを体験!



内容:



第二弾 謎解き×まちあるき×シアター

『一攫千金！殿、こちら御朱印状にございます』

■2026年9月21日(月・祝)

会場：長浜曳山博物館(長浜市元浜町14-8)
～ 大通寺(長浜市元浜町32-9) ※黒壁スクエア周辺

時間：10:00～16:00

①10:00 ②12:30 ③14:00

※全3回/体験時間は90分(予定)

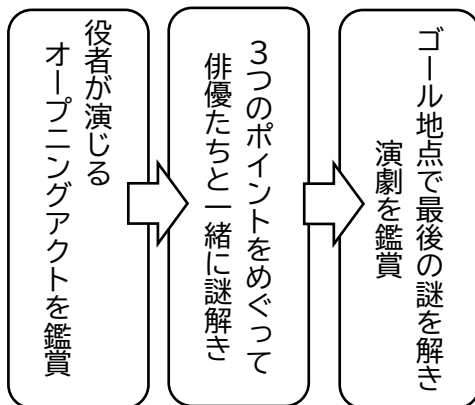
料金：一般 2,000円 小学生以下 1,000円

定員：各回30名

概要：観光と街歩きを行いながら「謎解き」と「役者が演じる物語」を楽しもう！



内容：



取材のポイント

◎ 観客参加型演劇「イマーシブシアター」で戦国の世界観に没入しよう

イマーシブシアターとは、俳優がステージ上で演じるのではなく、観客と俳優が同じ空間で物語を体験する、新しいエンターテインメントの形です。世界観に没入(immersive)できることが特徴。

長浜市内の街中で開催することで、観客の五感の刺激し、謎解きを交えながら街を周回し、観光名所を歩きながら楽しめることがポイントです。

◎ NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に合わせ 豊臣秀吉の生きた町を歩こう

長浜市は豊臣秀吉が初めて自らの城を構え、都市計画を行った出世地です。演劇の世界に入り込んで、秀吉の生きたまち、長浜をより深く味わってみませんか？

◎ 歴史を知らない人に、長浜をより深く知ってもらう機会へ

若者やファミリー層など、戦国の歴史に興味のない人、興味はあるけど訪れるきっかけのなかったライト層に、足を運んでもらう機会となることを目指します。「長浜でなにか面白いことをやっている！」そんな情報を届け、イベントに参加して、知って楽しむ情報の拡散につなげます。

◎ 街の外にも魅力たっぷり 広い北近江をめぐるきっかけに！

街中だけでなく、賤ヶ岳で演劇を上演することで、様々な所まで足を運んでいただけるきっかけをつくります。演劇を楽しみながら、広く、北近江を歩くきっかけをつくります。

記者会見 登壇者プロフィール

いそぎき しんいち 磯崎 真一【特定非営利活動法人はまかる 代表理事】

長浜市在住。プロデュース、演出、俳優。演劇的手法を使ったワークショップや、小学生劇団、中高生演劇サークルの指導、地域の歴史や文化、社会課題の舞台化、観光向けイベントなど、滋賀県長浜市を中心に演劇を通じて豊かな地域社会を目指す活動を行なっている。2019年、「特定非営利活動法人はまかる」設立。地域の文化芸術事業や他ジャンルとのコラボレーション企画を手がけ、地域の文化芸術発展の一助となることを目指している。特定非営利活動法人はまかる代表理事、長浜市民芸術文化創造協議会会長、公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団副理事長。

《公式サイト》：<https://hamacul.or.jp/>



筑田 明心 (ちくだ みょうしん)

滋賀県長浜市を中心に、俳優、浄土真宗西本願寺派の僧侶として活動。長浜で活動するタレントの「もえりーぬ」と共に、コントユニット「メッツ約1.5倍」を結成。賞レースへの出場や単独ライブの開催など、お笑い方面でも活動中。はまかるエンゲキヴ第8期の講師・演出を担当する。2024年M-1グランプリ(2回戦進出)、長濱浪漫ミュージカル「とりあえず、あんみつ！～ENCOLE!～」(茂役/2025年)、みたり、あいやどり(カズ役/2024年)。

大谷 佑真 (おおたに ゆうま)

劇団虎食み主宰。湖北を拠点に、企画・出演・制作・広報など、舞台にまつわるさまざまな立場で活動している。図書館や野外ステージなど、劇場以外の空間での上演を主軸に取り組む。「日本の大人」(2025年/企画)、「Fantasia」(2024年/演出)など

宮本 有利 (みやもと ゆうり)

横浜市出身。大学から演劇を始め、在学中は山形にて役者・裏方として舞台に関わる。現在は長浜市に拠点を移し活動。

特定非営利活動法人 はまかる

2019年設立。地域の文化芸術の創造と推進のため、さまざまな事業を行政や文化団体と共におこなっています。文化芸術団体の交流事業や人材育成事業、体験ワークショップやアウトリーチ事業、舞台芸術制作、上演事業の展開。劇場やホール以外にも学校やまちづくりセンターなどさまざまな場所で演劇の上演を行っています。近年は市民参加型の事業や相談、支援事業にも力を入れ、地域の文化芸術の発展に寄与しています。

《Instagram》：https://www.instagram.com/npo_hamacul/

「しがアートコラボレーション事業」について

BiWACC では、県内の文化ホールや文化団体と協働し、「しがアートコラボレーション事業」を実施することで、地域の多様な文化芸術創造・鑑賞活動の支援を行っています！

部門名	概要	令和8年度採択・実施数
ホールプロデュース部門	県内文化ホールが対象。舞台芸術を上演するだけでなく、地域に開かれた創作活動の現場としてより一層盛り上がるよう協働で事業に取り組む。	1件
アートコーディネーター部門	県内に活動の拠点を置くアートNPOや文化団体、文化芸術活動を行う個人を対象。県内で創作および公開発表を行う事業に取り組む。	9件

「びわ湖芸術文化交流センター BiWACC(ビワック)」とは

びわ湖芸術文化交流センター(Biwako Arts & Communication Center / BiWACC)は、公益財団法人びわ湖芸術文化財団地域創造部の愛称です。地域の芸術文化活動のパートナーとして、人とひと、地域と芸術をつなぎ、だれもがわくわくするような滋賀をめざして交流と創造の場を育んでいきます。



びわ湖芸術文化交流センター BiWACC の詳細はこちらのウェブサイトをご覧ください。
<https://biwacc.jp/>

主催:びわ湖芸術文化交流センター／BiWACC(公益財団法人びわ湖芸術文化財団 地域創造部)、
特定非営利活動法人 はまかる

※この事業は、令和8年度しがアートコラボレーション事業の採択事業として、びわ湖芸術文化交流センターと特定非営利活動法人 はまかるが協働して実施しています。

添付資料 : 公演案内チラシ(1部)

Web サイト:

『賤ヶ岳決戦！山城を攻め落とせ！！』 <https://event.biwacc.jp/event/36815/>

『一攫千金！殿、こちら御朱印状でございます』 <https://event.biwacc.jp/event/36812/>